（様式－3）

再発防止対策報告書

東北支部

発生日時	令和 5 年 10 月 10 日（火曜日） 9 時 40分頃						天候		曇り	
災害の程度	死亡 名		負傷 1 名		職種 組立工		年令 60才		経験年数42年	
工事の種類	調査測量	伐採	運搬	仮設	基礎	組立	足場	架線	撤去	その他
災害の種類	墜落・転落	転倒	物の飛来・落下	崩壊・倒壊	はさまれ・巻き込まれ	切れ・こすれ	感電	その他		
原因	作業準備の不良	作業方法の不良	工具防具の不良	電気工作物の不良	作業者の過失	共同作業者の過失	その他			

災害の状況	［件　　名］ 鉄塔組立作業中、ウインチドラムに左示指が巻き込まれ受傷 ［作業内容］ 鉄塔組立 ［発生状況］ ウインチによるワイヤー巻取り作業中、ウインチドラムでワイヤーが重なり そうになったため回転部付近で介錯をした際に左示指が巻き込まれ受傷。 ［被災程度］ 左示指切断 ［服装・装備］ 保安帽、作業服(上)、ヤッケ(下)、革手袋、長靴
原因及び対策	［発生原因］ ・ウインチ回転中に介添えしようとした。 ・キャプスタンへワイヤーロープの巻き方を誤った。 ・キャプスタン近くで介添え出来る状況だった。 ［再発防止対策］ ・ST式油圧ウインチのキャプスタン周囲に物理的対策（防護柵）・注意標識を設置し 稼働時の接近禁止と注意喚起を行う。 ・介添え作業を行う際にはキャプスタンから手の届かない荷の加わる方向で実施する。

（注）1.「人身災害報告要領」に基づいて記載するものとし、「工事の種類」「災害の種類」「原因」については該当項目に○印を付ける。

2. 災害状況の説明と共になるべく図面を添付すること（様式－2）。
特に感電の場合は支持物、電線の離隔距離その他寸法を記入する。

（様式－2）

災　害　概　要　図

被災時の状況（再現）

鋼管台棒，ウインチの位置関係

鋼管台棒全体図